

# おばま 市議会だより

No. 181



令和5年度決算を認定  
定額減税補足給付金給付事業などの予算議案を可決

# 令和5年度決算を

# 認定

一般会計  
歳入 177億9,303万1,786円  
歳出 171億8,433万3,900円

決算審査は、市の予算が適正に目的どおりに使われているのかを審査し、今後の予算編成や将来の財政計画に反映するための重要な役割を担っています。審査に当たっては、金額や数値に間違いがないかだけでなく、適法性を確認したほか、効果的に執行されたかといった点を重視しました。

## ふるさと納税事業

1億3575万7562円

### 説明

ふるさと納税に関する業務（寄付の受け付け、返礼品の管理、事業者の支援等）をノウハウを持つ業者に委託し、業務の円滑化を図るとともに、本市の特産品の魅力発信や地域産業の活性化等を行った。

### 問

寄付額が減少していることに対する捉え方は。

### 答

他の自治体が徐々に寄付額を増やす中で、主力商品が少ない本市では減少している。令和6年度は3億5000万円を目標にしており、現在は順調に伸びている。

### 問

寄付額の増加に向けた今後の具体的な取組みは。

### 答

庁内体制の強化を図るとともに、現在の委託事業者以外にもアイデアを得るため、プロポーザル（※）の実施を検討しており、地元企業との連携を一層強めることにより寄付額の増加につなげたいと考えている。

※ 価格による競争ではなく、提案内容を審査して事業者を選ぶ方式

## コミュニティセンター運営管理費

1億1673万7280円

### 説明

12地区のコミュニティセンターの運営管理に要する経費。

### 問

令和5年度に公民館がコミュニティセンターに移行した後の利用状況は。

### 答

公民館をコミュニティセンター化したことにより、社会教育以外の活動を行うことも可能になり、企業やサークル等がさまざまな活動に利用している。また、登録サークルが増加したほか、防災イベントやフリーマーケットなどの新しい取組みにも利用されている。さらに、コミュニティセンター化に合わせて整備したWi-Fiを使い、地区行事等を自宅からでも視聴することができるよう生中継を行うなどの活用がされている。

## 若狭霊場施設管理運営費

2336万2548円

### 説明

若狭霊場施設修繕などの管理運営費。

### 問

必要な修繕を施すことにより、いつごろまで施設を維持することができるのか。

**答**

建設から54年が経過した古い施設ではあるが、適正に火葬を行うため、修繕や工事に要する費用を毎年度確保し、計画的に修繕等を行っている。現在のところ火葬炉の運転に支障はなく、ある程度の年数は維持できると考えているが、予期せぬ事態により稼働することができなくなった場合は、近隣自治体に火葬の受け入れを依頼しなければならない。

### 鯖街道ロングストーリー造成事業

1931万4700円

**説明**

観光庁の「ロングストーリーによる地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査」の実施地域の採択を受け、日本遺産に認定されている「御食国若狭と鯖街道」の世界観を体感できる、外国人向けツアーを企画した。

**問**

ツアーの企画等に関する支援業務の委託事業者の選定理由は。

**答**

特に海外旅行客を専門に扱うデネブ株式会社に委託した。観光庁や京都の料理人などと密接なつながりを持ち、文化観光の分野で極めて高い実績を上げていることから、本市の文化観光を推進するために最適任であると判断した。

**問**

ツアーへの参加者数は。

**答**

初回のツアーには約10名が参加し、参加者から非常に高い評価を受けた。その後、商品化されたツアーを旅行会社が2回実施し、約10名の富裕層の観光客が約1週間滞在した。今後は、年間50名程度の参加者を見込んでおり、高い経済波及効果を期待している。

### ストックヤード整備事業

1850万円

**説明**

舞鶴若狭自動車道の4車線化工事に伴って発生する土の本市受け入れ分の受け入れ先として、加斗地係で測量調査設計を行った。

**問**

発生する土を、加斗地係のみで全て受け入れることが可能か。

**答**

大飯高浜・若狭上中の両インターチェンジ間の工事で発生する土の量は、約136万立方メートルと見込まれている。発生する土の別の受け入れ先として、平野地係の県営産業団地の予定地と加斗地係だけでは場所が不足するため、令和6年度には太良庄と東相生でストックヤードの整備について検討を進めている。ただし、それでも十分ではない可能性があるが、今後も受け入れ先を数多く確保できるよう、円滑に準備を進める必要がある。

## 決算審査に伴う管内視察を実施

期日 9月26日(木)

予算決算常任委員会では、令和5年度の決算審査の一環として、次の5カ所の視察を行い、予算が適正に執行されたことを確認しました。

**視察先**

- ① 阿納区の共同入浴施設等  
(民宿リニューアル支援事業)
- ② 聖ルカ乳児ほいくえん  
(保育施設等整備事業)
- ③ 小浜市総合卸売市場  
(冷凍冷蔵設備更新)
- ④ 今富児童クラブ  
(放課後児童健全育成事業)
- ⑤ JR小浜駅  
(待合室リニューアル工事)



整備された入浴施設を視察(①)



職員の説明に聞き入る(④)

# くまなくチェック 委員会審査



## ■ 可決した 9 月補正予算

	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	165 億 9,361 万円	3 億 1,234 万円	169 億 595 万円
特別会計	69 億 7,347 万円	778 万円	69 億 8,125 万円
企業会計	43 億 2,480 万円	2,238 万円	43 億 4,718 万円
合計	278 億 9,188 万円	3 億 4,249 万円	282 億 3,437 万円

端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

## 9月補正予算の審査

9月定例会では、国の税制改正による定額減税において、減税しきれないと見込まれる納税者に対して給付金を給付する「定額減税補足給付金給付事業」などの補正予算案を可決しました。  
審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

### 定額減税補足給付金の給付

定額減税補足給付金給付事業  
**5,649万8,000円**

令和6年度税制改正による定額減税で、減税しきれないと見込まれる納税者に給付金を給付するもの

確認書の提出がない方には、郵便による提出勧奨、市のホームページへの掲載、チャンネルOでの告知などにより周知に努める。オンラインによる申請も受け付けており、現時点での確認書の提出率は50%を超えたところだが、やむを得ない事情により確認書を提出することができなかった方には、令和7年度予算で対応したい。

答

給付対象者には通知を発送し、対象者からの確認書の提出をもって給付金の給付がされるが、確認書が提出されない場合の対応は。

問

区長や自主防災組織と協議して決定する。自主防災組織が結成されていない区では、区長だけでなくできる限り多くの住民と協議した上で決定する。

答

海抜表示板の設置場所は、どのように決定するのか。

問

### 海抜表示板の設置

防災体制整備事業  
**364万4,000円**

津波避難対策として、海抜表示板が設置されていない内外海地区等の海に面している地区の指定避難所等に海抜表示板を設置するもの

問

海抜表示板の区などへの配分方法は。

答

指定避難所の他、集会所と電柱に設置する。設置数は市で決定し、区などにも願います。



現在設置されている海抜表示板(千種一丁目)

**小浜西組の面的な開発・高付加価値化プロジェクト**

**499万円4000円**

**説明**

町家や古民家などの歴史的資源を活用した観光まちづくりを推進するため、小浜西組全体を一つのホテルと見立てるプロジェクトの実現可能性を探る基礎的調査を実施するもの。

**問**

ホテルや店舗への改修に向けた次年度以降の計画は。

**答**

ホテルへの改修は、国からの補助に加え、民間の投資を呼び込む形での実施を考えている。店舗への改修については、現在実施しているおばま創業促進事業と連携しながらフォロワーシップすることを想定しており、小浜西組などで特に創業しやすいよう、企業誘致戦略検討委員会において見直しを図っている。



小浜西組（三丁町）

**問**

ホテルの運営に参画する予定とされている民間事業者の選定理由は。

**答**

この事業者には、おばま観光局が小浜町家ステイを始めた当初から、小浜西組への進出を打診していた。おばま観光局では、同社から宿泊サービスのノウハウの提供を受けて宿泊事業を拡大し、古民家宿の整備も進んだ。そうした中で同社の本市への進出の意向が固まったもので、市としても、民間活力を導入することにより、おばま観光局の負担軽減が図られるとともに、さらなる地域活性化が期待できると判断した。

**問**

既存の宿泊事業者への影響は。

**答**

今回整備を目指すホテルは高付加価値化した宿泊施設であるため、近隣のホテルとの競合はないと考える。

**日本遺産推進事業**

**150万円**

**説明**

北前船寄港地フォーラムを11月に福井県で開催するに当たり必要となる、実行委員会への負担金。

**問**

北前船寄港地フォーラムの詳しい内容は。

**答**

実行委員会では事業計画策定の準備を進めているが、県産業会館でフォーラムを開催し、その後の体験型見学会を小浜市・敦賀市・美浜町で開催する予定。小浜市の体験型見学会には、80名から100名の受け入れを予定し、参加者には小浜西組や旧古河屋別邸の護松園、旭座など、北前船にゆかりのある場所を巡り、ホテルでの夕食会で交流いただくことを検討している。

**登録文化財「洗心館」修繕事業**

**142万2000円**

**説明**

国の登録文化財で、小浜中学校の敷地内に建つ洗心館の修繕を行うもの。

**問**

洗心館の現状と今後の整備方針は。

**答**

昨年度、洗心館復活プロジェクトで集められた寄付金で、床や壁の修理が行われた。本補正予算で傷みの激しい建具の修繕を行うことで安全に使用できる体制が整い、文化財を保存、活用する上で最小限の修繕は完了すると考えている。今後は、外壁の塗り直しや空調機器の設置など、活用の幅を広げるための整備を検討する。

# 採択した請願を市長に送付しました

以下の請願については、本会議において全会一致で採択されました。  
請願は、9月17日付で議長から市長に送付しました。

## 「化学物質過敏症に関する請願について」

### 内容

化学物質過敏症を発症させない、悪化させない、発症しても周囲の理解のもとに合理的配慮がなされるよう、早急な社会的対策を求めるもの。

### 化学物質過敏症とは・・・

香料や化粧品、たばこ、塗料、洗剤、食品添加物、排ガスなどに含まれるさまざまな化学物質が原因で頭痛や吐き気などの症状が起きる。発症するとごく微量でも症状が出るようになり、重症化すると日常生活や仕事にも支障を来す。

～ 2024年7月7日(日) 福井新聞から引用～

### 委員会審査での主な意見



請願事項の中には論理が飛躍している部分もあるが、請願の趣旨に影響するとまでは言えず、市民の健康に関する請願がなされたことは非常に意義がある

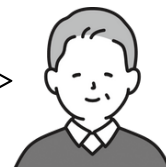


国も化学物質過敏症の症状に苦しむ人がいる現状を踏まえ、啓発活動を推進している

実際に化学物質過敏症を発症した人がいる中で、市が今後どのように取り組んでいくのかを確認する必要がある



請願の趣旨は、市民に化学物質過敏症への理解を深めてもらうため、市に啓発活動等を求めているものである



日	内容
8月1日(木)	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、総務民生常任委員会
8月4日(日)	2024 箒まつり開会式
8月7日(水)	議会運営委員会、議会報告会連絡会
8月8日(木)	北陸新幹線早期全線開業特別委員会と美浜町議会との意見交換会(美浜町)
8月9日(金)	公立小浜病院組合議会運営会議、京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会・鯖街道まちづくり連携協議会合同による福井県要望(福井市)、福井県市議会議長会定期総会(福井市)
8月11日(日)	万灯祭
8月16日(金)	全員協議会、令和6年第3回小浜市議会臨時会、議会報告会連絡会
8月19日(月)	議会運営委員会、北川改修促進期成同盟会総会、国道162号大手橋・西津橋改修促進期成同盟会総会
8月20日(火)	全員協議会、総務民生常任委員会
8月21日(水)	産業教育常任委員会、公立小浜病院組合議会
8月23日(金)	福井県市議会議長会による福井県知事要望(福井市)
8月24日(土)	福井県戦没者追悼式(越前市)
8月26日(月)	令和6年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報推進特別委員会

## ◆議会活動日誌◆

# 令和6年第4回定例会の採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	認定	令和5年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について		令和5年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	債権の放棄について		令和5年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	議会の委任による専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）		令和5年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
予算	令和6年度小浜市一般会計補正予算（第4号）		令和5年度小浜市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	令和6年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		令和5年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	令和6年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		令和5年度小浜市水道事業会計決算の認定について	
	令和6年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		令和5年度小浜市下水道事業会計決算の認定について	
	令和6年度小浜市水道事業会計補正予算（第1号）		意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書
	令和6年度小浜市下水道事業会計補正予算（第1号）			人事
条例	小浜市国民健康保険条例の一部改正について	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（田邊 重正さん）		
請願	化学物質過敏症に関する請願について	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（古田 幸志さん）		
その他	令和5年度小浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（遠藤 花子さん）		
	認定	令和5年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について		
令和5年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について				

4 （金）	3 （木）	1 （火）	◆ 10月	26 （木）	24 （火）	20 （金）	19 （木）	18 （水）	17 （火）	12 （木）	11 （水）	10 （火）	9 （月）	4 （水）	2 （月）	◆ 9月	30 （金）	28 （水）	
委員会、広報推進特別委員会	定例会、議会運営委員会、総務民生常任委員会、議会運営委員会、令和6年第4回小浜市議会	予算決算常任委員会		予算決算常任委員会管内視察	総務民生分科会（決算審査）	総務民生分科会（決算審査）	産業教育分科会（決算審査）	産業教育分科会（決算審査）	定例会、総務民生常任委員会	議会運営委員会	全線開業特別委員会、産業教育常任委員会	予算決算常任委員会、北陸新幹線早期	令和6年第4回小浜市議会定例会	令和6年第4回小浜市議会定例会	議会運営委員会	産業教育分科会		総務民生常任委員会・分科会	公立小浜病院組合議会

# 市政を問う！一般質問

令和6年第4回(9月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
小澤 長純	1. 市政を問う	浦谷 梨華子	1. OBAMAでしあわせ応援事業について
世戸 玉枝	1. 原発の使用済み燃料の乾式保管について 2. 子育て支援(主に経済面で)について	岡 泰宏	1. 市長の政治姿勢について
池田 英之	1. 市長所信表明について	今井 伸治	1. 新市長の政策について
東野 浩和	1. 新市長の構想および政策について 2. 市民スポーツについて 3. 広域斎場について	※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。 二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。	

## 新幹線のまちづくりをどう考える？



おざわ ながすみ  
小澤 長純



**問** 小浜市の財政状況は、健全な状態を維持していると思うが、「財政難」とする根拠は。

**答** 人口減少が加速することにより、市税収入や地方交付税の減少、社会保障関係経費のさらなる増加など、今後ますます厳しい財政運営が求められる。

**問** 公約にあった学校給食費無償化の実施時期とその財源の捻出方法を問う。

**答** できるだけ早い時期にと考えている。財源については、政策の柱として掲げている「稼く・活かす・育む」の循環システムをしっかりと回していくことで自主財源を確保し、安定した施策として取り組みたい。

**問** 年内には北陸新幹線の駅位置・詳細ルートが確定する見込みがあるが、その後のまちづくりをどのように考えているか。

**答** 基本的な方向性を示す「北陸新幹線全線開業を活かした小浜市新まちづくり構想」を、令和2年6月に策定している。駅位置・詳細ルートが確定された後、改めて市民の皆さまとこの構想を共有し、まちの将来像についてご意見を頂く機会を設けたい。お聞きしたご意見やご提案を参考に、社会情勢の変化や本市を取り巻く環境の変化なども踏まえ、必要に応じてアップデートしたい。その後、この構想を基に、新駅周辺の土地利用やアクセス道路等のインフラ整備など、駅周辺のまちづくりを計画する「新駅周辺エリア基本計画」に着手したいと考えている。

## 立地並みの原発同意権を／子育て支援



せと たまえ  
世戸 玉枝



**問** 使用済み核燃料の乾式貯蔵について、関電に対し小浜市民にも説明を求めるべきでは。

**答** 今後も市民への情報提供、理解促進に努めるよう求めていく。

**問** 東海原発周辺市町は、立地並みの同意権を得ている。本市も同意権を得る考えは。

**答** 今回のような原子炉施設に重要な変更を行う際には、事前了解を求める必要がある。

**問** 小浜市は、子どもの医療費が、小学から高校まで、1医療機関につき1カ月5000円の負担が必要。完全無料化について伺う。

**答** 今後、他市町の動向、財源の確保を踏まえ検討したい。

**問** 学校給食の無償化について問う。

**答** 本市の食のまちづくりの理念の下、その手法と進め方について、調査・検討に取り組み。

**問** 子どもが増えると保険料が上がり、少子化対策に逆行する国保税の均等割について問う。

**答** 国保の運営は、県統一を進める。現時点で本市独自の軽減は考えていない。

**問** 一定の水準以下の家庭の子どもに給食費などを援助する就学援助金について問う。

**答** 経済的困難を抱えている保護者に対する大切な支援だ。制度を周知し、確実に申請できるよう取り組みたい。

**問** 生活保護を受けている要保護世帯と、要保護世帯に準ずる準保護世帯との援助内容の差について問う。

**答** これまで以上に、援助を必要とする家庭が確実に支援が受けられるよう努める。



## “小浜ファン”を増やす取組みを!!



いけだ ひろのり  
池田 英之



**問** 力を入れる施策「稼ぐまち」の中で、ふるさと納税を10億円にする方策について伺う。

**答** 業務を担う組織を強化し事業者への支援体制を構築するなどして地域資源の掘り起こしを図る。

**問** 本市を応援したいという関係人口の増加につながる「小浜ファンクラブ」を立ち上げ、まちづくりの応援団として参画してもらってはどうか。

**答** 関係人口を増やす有効な手段の一つと捉えており、施策を検討する中で考える。

**問** 力を入れる施策「活かすまち」ブランド戦略について、「核」とは何か問う。

**答** 一つのブランドに特化するのではなく、食文化やさまざまな地域資源を含め、まち全体をブランド化し情報発信する。

**問** 北陸新幹線小浜・京都ルートの駅位置・ルート決定後における新駅周辺エリアのまちづくり計画について伺う。

**答** 詳細内容が確定された後、まちの将来像についてご意見を頂く機会を設け、「新駅周辺エリア基本計画」に着手したい。

**問** 市民との対話集会で得られる市民の多様な意見をどのように施策に反映していくのか。

**答** アイデアや意見は職員と情報共有し、政策立案等の材料としていく。

**問** スピード感のある行政運営の所信は。

**答** 多様な民間資源を活用した官民連携の仕組みを取り入れるとともに、職員がチャレンジ精神を持って主体的に行動する。

## 小浜市民体育館に空調設備を!



ひがし ひろかず  
東野 浩和



**問** 市内体育施設における市民スポーツの活動状況は。

**答** 小浜市スポーツ協会、スポーツ少年団をはじめ、中高生やスポーツクラブ、サークル等の各種団体が年間を通して活動している。利用施設としては、市民体育館や総合運動場、小中学校体育館が利用されている他、若狭総合公園温水プールや武道館等も利用されており、利用者総数としては、年間延べ約20万人がスポーツ活動を行っている。

**問** 大変多くの市民が市内体育施設においてスポーツ活動を行っており、今後も安心・安全な環境整備に努めていくことが重要と考えるが、そのような中、近年の猛暑による熱中症対策が差し迫った課題と考える。特に本市のメイン施設である市民体育館の利用状況が高く、まずはこの施設の空調設備を早急に検討すべきと考えるが、市の考えは。

**答** 市営の体育館の空調設備については、県内9市のうち6市において体育館に整備されている他、あわら市では県営体育館に整備されている。昨今の猛暑日が続く中、利用者の熱中症対策として、また大規模災害発生時に多くの避難者を受け入れる施設として、本市においても市民体育館における空調設備の必要性は認識している。今後は、整備に向けた財源の確保および整備手法、維持管理コストについて、県内外の先進事例を研究し、幅広い視点での検討を進めていく。

## 地域の縁結びさんと連携し出会い提供を



うらたに りかこ  
浦谷 梨華子



**問** 行政主体の婚活支援について、市の見解を伺う。

**答** 本市では、今後もOBAMAで愛実行委員会や婦人福祉協議会とともに、結婚を希望する方へ出会いの場を提供し、希望が実現できるように後押ししていく。

また、出会いの場も多様化していることを踏まえ、スポーツなどの既存イベントを出会いの場とする仕掛けづくりなどを提案していきたい。

さらに、ふくい結婚応援協議会や、独身者に対し結婚支援活動を展開している地域の縁結びさんといった方とも連携を密に取りながら、結婚を希望する方のニーズに合った出会いの場が提供できるよう取り組んでいきたい。ひいては、結婚新生活の支援や子育て支援へとつなげていくことで、本市の人口減少への歯止めや定住人口の増加による活力あるまちづくりを実現していきたい。



## 杉本市長の政治姿勢とは



おか やすひろ  
岡 泰宏



**問** 市長としての政治姿勢について伺う。

**答** 最も重視しているのは、市民の皆さまと対話し、市民の皆さまがまちづくりに参加していることを実感できる「見える市政」をつくることである。「みんなが潤うまち」小浜の実現に向けて、市民の暮らしに資する政策を実行し成果を上げていく。

**問** ブランド戦略の取組体制について伺う。

**答** 小浜市が持つ数々の文化的資源を最大限に生かし、「おばま」という名前を聞けば、全国の人がイメージできるような仕立てを行い、小浜市の魅力をアピールしていく。また、ブランド戦略を展開していくには、幅広い知識や経験が求められるため、来年度に向け、機構における位置付けや、外部人材の登用の他、本市出身者や県内外の有識者と連携するなど、組織体制についても検討していく。これまでの本市の取組みをさらに発展させ、まち全体をブランド化する戦略を、私自身が先頭に立って展開していく。

**問** 北陸新幹線小浜・京都ルート<sup>1</sup>の早期開業に向けた取組みについて伺う。

**答** これまで北陸新幹線にご尽力された方々の強い思いを引き継ぎながら、市議会をはじめ関係者としてしっかりとタッグを組み、駅位置・詳細ルートの公表と着上り条件の早期解決を図るよう強く求めていく。さらに、今後も沿線自治体の首長や関係者との信頼関係を深め、令和7年度中の認可・着工に向けて全力で取り組む。

## 市長の政策について問う



いまい しんじ  
今井 伸治



**問** 新幹線の取組みについて市長の考えを問う。

**答** 私も議員時代に、北陸新幹線早期全線開業特別委員会に所属し、議会の思い、活動はよく承知している。

所信表明では、早期全線開業に向けて共に取り組む一員の中に「議会」が欠落しており申し訳なかった。

北陸新幹線「小浜・京都ルート」による全線開業は、本市の利益だけでなく、地方創生や国土強靱化など、日本の国益にとって真に必要な国家プロジェクトであり、一刻も早く全線開業する必要がある。議会と共に前に進めていきたいとの強い思いを持っている。

**問** 市長は地域政党ふくいの党の結成以来のメンバーだが、今後も党に所属し、そのメンバーとして活動されるのか。その場合ふくいの党が今後の市長の意思決定や市政運営にどのように関わっていくのかを問う。

**答** 私自身は今もふくいの党に所属している。これからもさまざまな政策の研さんなどは、党の活動に従事していきたいと考えている。ただ、小浜市の政策決定などに関しては、ふくいの党の考えは一切関与しないという形で進めていく。

市民との対話、そして市民と共に小浜の未来を潤わせていく、そのための活動に従事していくので、党の方針に関しては一切市政には反映しないことを約束する。

### 12月定例会の予定～議会を傍聴しませんか？～

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に、必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合のよい時間に、ぜひお越しください。

- 11月28日(木) 本会議・予算決算常任委員会
- 12月3日(火) 産業教育常任委員会・分科会調査
- 4日(水) 総務民生常任委員会・分科会調査
- 12日(木) 本会議(一般質問)
- 13日(金) //
- 16日(月) 予算決算常任委員会
- 19日(木) 本会議

※状況に応じて、変更が生じる場合があります。

### ●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を掲載しています。



# 早期着工への熱意よ届け！

## ～嶺南6市町の議会がそろって意見書を提出～

北陸新幹線の全線開業を目指し、9月から10月にかけて嶺南6市町の議会が足並みをそろえて、国に意見書を提出しました。

小浜市議会における要望項目は、以下の意見書概要のとおりです。



### 北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書（概要）

（令和6年10月4日可決）

北陸新幹線の全線開業を一日も早く実現するよう求めるものです。

要望事項は、以下の3項目です。

- 敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速かつ着実に進めるとともに、令和6年末までの駅位置・詳細ルート公表および令和7年度には認可・着工を行い、一日も早い全線開業を実現すること。
- 貸付料の算定期間延長や国費の大幅な増額等により整備財源を確保するなど、着工5条件の早期解決を図り、開業までの期間を最大限短縮すること。
- JR小浜線は特急列車が運行されておらず、また、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを明確にすること。



#### 編集後記

9月定例会では、タブレット端末を使用して、市の事業に関する審査や各委員会での所管事務調査を行いました。また、国に意見書を提出しました。

広報推進特別委員会では、議会だよりの発行やホームページなど、情報提供の充実に向けた議論が活発に行われております。今後も、より読みやすい紙面づくりを目指して取り組んでまいりますので、皆さまのご感想やご意見をお寄せいただければ幸いです。

広報推進特別委員会 委員 牧岡輝雄

#### 今号の表紙

#### 響き渡る太鼓や笛の音 （小浜津島の神楽）

9月14日、15日に盛大に催された放生祭の本稽古の様子です。小学生が大人から太鼓のたたき方を教わり、生き生きと練習していました。

皆さまの声を  
お聴かせください



# 議会報告会を開催します

市議会では、“開かれた議会”を目指し、全ての地区で議会報告会を開催します。活動を報告するとともに、市民の皆さまのご意見をお聴きし、議会活動に反映します。

## 日時

11月7日(木)  
19時30分～21時

## 開催地区

雲浜(1班) 宮川(2班)  
加斗(3班) 小浜(4班)

## 日時

11月21日(木)  
19時30分～21時

## 開催地区

内外海(1班) 中名田(2班)  
今富(3班) 口名田(4班)

## 日時

11月22日(金)  
19時30分～21時

## 開催地区

松永(1班) 西津(2班)  
国富(3班) 遠敷(4班)

## 会場

各地区のコミュニティセンター(旧公民館)

## 班構成

1 班 (雲浜・内外海・松永)	2 班 (宮川・中名田・西津)	3 班 (加斗・今富・国富)	4 班 (小浜・口名田・遠敷)
浦谷 梨華子 東野 浩和 藤田 靖人 池田 英之 富永 芳夫	佐野 達也 川代 雅和 竹本 雅之 下中 雅之	上野 一 武長 由里子 岡 泰宏 今井 伸治	世戸 玉枝 牧岡 輝雄 小澤 長純 池尾 正彦

## 内容

1. 定例会の報告
2. ひとり暮らし高齢者の社会的孤立を防止する取組みについて
3. 意見交換(市民の皆さまのご意見やご質問をお聴きします)

お誘い合わせの上、ご都合のつく会場へ気軽にお越しください。